

# iMC SHM 7.3 (E0502P08)

## リリースノート

本書のいかなる部分も、New H3C Technologies Co.,Ltd.の事前の書面による同意なしに、いかなる形式または手段によっても複製または変更することはできません。本書の情報は、予告なしに変更されることがあります。

The H3C logo is displayed in a bold, red, sans-serif font. The letters 'H', '3', and 'C' are connected, with the '3' being slightly smaller and positioned between the 'H' and 'C'.

## 内容

バージョン情報	4
バージョン番号	4
バージョン履歴	4
バージョンの互換性マトリックス	4
制限事項および注意事項	6
バージョンの更新	8
iMC SHM 7.3 (E0502P08)	8
ソフトウェア機能のアップデート	8
新しいデバイスのサポート	8
新しいカードまたはモジュールのArubaサポート	8
iMC SHM 7.3 (E0502L07)	8
ソフトウェア機能のアップデート	8
新しいデバイスのサポート	8
新しいカードまたはモジュールのArubaサポート	8
iMC SHM 7.3 (E0502P06)	9
ソフトウェア機能のアップデート	9
新しいデバイスのサポート	9
新しいカードまたはモジュールのArubaサポート	9
iMC SHM 7.3 (E0502H05)	9
ソフトウェア機能のアップデート	9
新しいデバイスのサポート	9
新しいカードまたはモジュールArubaのサポート	9
iMC SHM 7.3 (E0502P04)	9
ソフトウェア機能のアップデート	10
新しいデバイスのサポート	10
新しいカードまたはモジュールのArubaサポート	10
iMC SHM 7.3 (E0502P03)	10
ソフトウェア機能のアップデート	10
新しいデバイスのサポート	10
新しいカードまたはモジュールのArubaサポート	10
iMC SHM 7.3 (E0502P02)	10
ソフトウェア機能のアップデート	10
新しいデバイスのサポート	11
新しいカードまたはモジュールのArubaサポート	11
iMC SHM 7.3 (E0502P01)	11
ソフトウェア機能のアップデート	11
新しいデバイスのサポート	11
新しいカードまたはモジュールのArubaサポート	11
未解決の問題と回避策	12
解決された問題のリスト	13
iMC SHM 7.3 (E0502P08)で解決された問題	13
iMC SHM 7.3 (E0502L07)で解決された問題	13
iMC SHM 7.3 (E0502P06)で解決された問題	13
iMC SHM 7.3 (E0502H05)で解決された問題	14
iMC SHM 7.3 (E0502P04)で解決された問題	14
iMC SHM 7.3 (E0502P03)で解決された問題	14
iMC SHM 7.3 (E0502P02)で解決された問題	15
iMC SHM 7.3 (E0502P01)で解決された問題	15
ソフトウェアのアップグレード	16

制限事項およびガイドライン .....	16
前提条件.....	16
iMCのバックアップ .....	16
iMCのパッチ適用 .....	17
アップグレード障害後のiMCの復元.....	22
<b>情報問い合わせ先情報.....</b>	<b>22</b>

# バージョン情報

## バージョン番号

このリリースノートは、iMc SHM 7.3 (E0502P08)バージョン用です。

## バージョン履歴

表1 バージョン履歴

バージョン番号	リリース日	備考
iMC SHM 7.3 (E0502P08)	2018-11-29	
iMC SHM 7.3 (E0502L07)	2018-06-22	
iMC SHM 7.3 (E0502P06)	2018-02-28	
iMC SHM 7.3 (E0502H05)	2017-11-24	
iMC SHM 7.3 (E0502P04)	2017-09-22	H3C ICMPジッタをサポートします。
iMC SHM 7.3 (E0502P03)	2017-06-28	
iMC SHM 7.3 (E0502P02)	2017-04-26	
iMC SHM 7.3 (E0502P01)	2017-03-26	

## バージョンの互換性マトリックス

バージョン互換性マトリックスでは、アップグレード可能なバージョンとは、このパッチバージョンにアップグレードできるバージョンまたはバージョントレインです。

表2バージョンの互換性マトリックス

項目	仕様
アップグレード可能なバージョン	iMC SHM 7.3 (E0502L07) iMC SHM 7.3 (E0502P06) iMC SHM 7.3 (E0502H05) iMC SHM 7.3 (E0502P04) iMC SHM 7.3 (E0502P03) iMC SHM 7.3 (E0502P02) iMC SHM 7.3 (E0502P01) iMC SHM 7.3 (E0502)
互換プラットフォームのバージョン	iMC PLAT7.3 (E0506) およびそのパッチ

<p>オペレーティングシステム</p>	<p>Windows Server 2008 Service Pack 2 (64ビット)  Windows Server 2008 R2 Service Pack 1  Windows Server 2012 with KB2836988  Windows Server 2012 R2  Red Hat Enterprise Linux Server5.5 (64ビット)  Red Hat Enterprise Linux Server5.9 (64ビット)  Red Hat Enterprise Linux Server6.1 (64ビット)  Red Hat Enterprise Linux Server6.4 (64ビット)  Red Hat Enterprise Linux Server7.x (64ビット)</p>
<p>ブラウザ</p>	<p>IE10またはIE11、Firefox 30以上、Chrome 44以上</p>

# 制限事項および注意事項

## サービス管理

- シスコデバイスのNQAインスタンスを作成する際には、このインスタンスの両方のデバイスで同じSLA認証を使用する必要があります。
- VPNパラメータを指定したtracertコマンドは、シスコデバイスでは使用できません。
- コマンドラインの問題により、H3Cデバイス上でVPNパラメータを指定したtracertコマンドの実行が失敗する場合があります。
- 一部のレポートデータが欠落しています。これは、HPデバイスでは一部の統計、一部のレポートデータが欠落しています。
- HPデバイスは、DHCPインスタンスのデプロイメントをサポートしません。
- デフォルトでは、レポートデータを収集するプロセスは2つのみです。データ収集間隔が1分の場合、最大120のインスタンスがサポートされます。間隔が5分の場合、最大600のインスタンスがサポートされます。残りのインスタンスは廃棄され、これらのインスタンスからデータは収集されません。
- TCP、UDPエコー、UDPジッタ、および音声動作を開始する前に、宛先デバイス上でNQAサーバーのTCPまたはUDPリスニングサービスを設定します。リスニングサービスのIPアドレスおよびポート番号は、NQAサーバー上で一意であり、NQAクライアント上の設定と一致する必要があります。
- ネットワークパフォーマンスモデルに基づいてSLAを追加する前に、選択したデバイスインタフェースの伝送速度は、パフォーマンス管理コンポーネントで監視されていることを確認してください。
- 空のNQAデータを収集しないようにするには、iMC SHMサーバーとクライアントが同じシステム時間で実行されるように設定します。
- Comware7デバイスは、iMC SHM 7.3 (E0502)以降のバージョンに直接インポートできます。Comware7デバイスをiMC SHM7.2 (E0402P05)以前のバージョンにインポートするには、最初にIntelligent Deployment Monitoring AgentでNQAプロセスを手動で開始する必要があります。
- デバイスがH3C ICMP Jitter NQAタイプをサポートしていない場合は、デバイスソフトウェアバージョンを最新にアップグレードします。TCP、UDPエコー、UDPジッタ、および音声操作を開始する前に、宛先デバイス上でNQAサーバーのTCPまたはUDPリスニングサービスを設定します。IPリスニングサービスのアドレスおよびポート番号は、NQAサーバー上で一意であり、NQAクライアント上の構成と一致する必要があります。
- ネットワークパフォーマンスモデルに基づいてSLAを追加する前に、選択したデバイスインタフェースの伝送速度は、パフォーマンス管理コンポーネントで監視されていることを確認してください。
- 空のNQAデータを収集しないようにするには、iMC SHMサーバーとクライアントが同じシステム時間で実行されるように設定します。
- Comware7デバイスは、iMC SHM 7.3 (E0502)以降のバージョンに直接インポートできます。Comware7デバイスをiMC SHM7.2 (E0402P05)以前のバージョンにインポートするには、最初にIntelligent Deployment Monitoring AgentでNQAプロセスを手動で開始する必要があります。
- デバイスがH3C ICMP Jitter NQAタイプをサポートしていない場合は、デバイスソフトウェアバージョンを最新にアップグレードします。
- NQAインスタンスバッチ監査機能はソースデバイススペースです。NQAインスタンスリストからNQAインスタンスを選択し、Auditをクリックすると、選択したNQAインスタンスと同じソースデバイスを持つすべてのNQAインスタンスが監査されます。
- サーバーパフォーマンスに基づいて、qvdm\_sla.confファイルで1秒あたりに収集されるNQAインスタンスの数を設定します。ベストプラクティスとして、15より大きい値は設定しないでください。値を15に設定すると、各NQAインスタンスの収集間隔は1分になり、最大900個のNQAインスタンスがサポートされます。
- 新規NQAインスタンスを作成する前に、デバイス上の既存のNQAインスタンスをNQAインスタン

スリストにインポートします。インポートしないと、新規作成されたNQAインスタンスによってデバイス上のNQAインスタンスが上書きされる可能性があります。

- NQA達成率の精度を確保するには、NQAタイプに対してNQA基本索引を1つのみ選択します。
- NQAインスタンスリストの達成率は、加重平均方法を使用して計算されます。達成率100および0は計算に含まれ、達成率-1は計算から除外されます。
- NQAインスタンスでは、Ciscoデバイスからのデータの読取りに遅延があります。これにより、構成が正しい場合でもインスタンス構成の検証が失敗する可能性があります。この場合、このインスタンスのデータ収集は影響を受けません。

# バージョンの更新

## iMC SHM 7.3 (E0502P08)

### ソフトウェア機能のアップデート

#### 追加された機能

Huawei NE20ルータは、ICMPエコータイプのNQAインスタンスをサポートします。

#### 削除されたフィーチャ

なし

#### 変更されたフィーチャ

なし

### 新しいデバイスのサポート

なし

### 新しいカードまたはモジュールのArubaサポート

なし

## iMC SHM 7.3 (E0502L07)

### ソフトウェア機能のアップデート

#### 追加された機能

NQAインスタンスリストは、カスタマイズされた列の表示をサポートしています。

#### 削除されたフィーチャ

なし

#### 変更されたフィーチャ

なし

### 新しいデバイスのサポート

なし

### 新しいカードまたはモジュールのArubaサポート

なし

## iMC SHM 7.3 (E0502P06)

### ソフトウェア機能のアップデート

#### 追加された機能

なし

#### 削除されたフィーチャ

なし

#### 変更されたフィーチャ

NQAインスタンスのバッチ監査をサポートします。NQAトポロジに背景が追加されました。

NQAインスタンスが追加または変更された場合に、NQAサーバーの構成を自動的に導入できます。

### 新しいデバイスのサポート

なし

### 新しいカードまたはモジュールのArubaサポート

なし

## iMC SHM 7.3 (E0502H05)

### ソフトウェア機能のアップデート

#### 追加された機能

なし

#### 削除されたフィーチャ

なし

#### 変更されたフィーチャ

なし

### 新しいデバイスのサポート

なし

### 新しいカードまたはモジュールArubaのサポート

なし

## iMC SHM 7.3 (E0502P04)

## ソフトウェア機能のアップデート

### 追加された機能

H3C ICMPジッタをサポートします。

### 削除されたフィーチャ

なし

### 変更されたフィーチャ

なし

## 新しいデバイスのサポート

なし

## 新しいカードまたはモジュールのArubaサポート

なし

## iMC SHM 7.3 (E0502P03)

## ソフトウェア機能のアップデート

### 追加された機能

なし

### 削除されたフィーチャ

なし

### 変更されたフィーチャ

なし

## 新しいデバイスのサポート

なし

## 新しいカードまたはモジュールのArubaサポート

なし

## iMC SHM 7.3 (E0502P02)

## ソフトウェア機能のアップデート

### 追加された機能

なし

#### 削除されたフィーチャ

なし

#### 変更されたフィーチャ

なし

#### 新しいデバイスのサポート

なし

#### 新しいカードまたはモジュールのArubaサポート

なし

## iMC SHM 7.3 (E0502P01)

#### ソフトウェア機能のアップデート

##### 追加された機能

なし

##### 削除されたフィーチャ

なし

##### 変更されたフィーチャ

なし

#### 新しいデバイスのサポート

HPE

Aruba 3810M

HP J9851A

#### 新しいカードまたはモジュールのArubaサポート

なし

# 未解決の問題と回避策

## 問題1 201802260545

- 症状:NQAインスタンスの監査結果がFailedと表示されます。
- 状態:この症状は、次の状態が存在する場合に発生します。
  - 800を超えるNQAインスタンスが作成されました。
  - ゲートウェイデバイスで24時間以上にわたって障害が発生した場合、問題は解決され、すべての通信が再開されます。
- 回避策:imcsladmプロセスを再起動します。

## 問題2 201707310170

- 症状:NQAインスタンスリストの達成率が不正確です。
- 状態:この症状は、1つのNQAタイプに対して複数のNQA基本インデックスが選択されている場合に発生します。
- 回避策:NQAタイプに対してNQA基本索引を1つのみ選択します。

## 問題3 201803070823

- 症状:NQAグループの週の詳細レポートを表示するのに非常に時間がかかります。
- 条件:この症状は、次の条件を満たすNQAグループの詳細レポートに週のデータを表示するように切り替えた場合に発生します。
  - NQAグループには10個以上のインスタンスがあります。
  - データ収集間隔は1分です。
- 回避策:このようなNQAグループの詳細レポートの期間は変更しないでください。

## 問題4 201705270188

- 症状:SHMコンポーネントを正常にインストールできません。
- 状態:この問題は、SQL Serverシステム上のモデルデータベースが100MBを超えた場合に発生します。
- 回避策:データベースの作成時に初期スクリプト(16MBのサイズ)を指定しないでください。

## 問題5 201703140618

- 症状:使用不可率、エラー率、および遅延のRTT遅延に関するデータが表示されません。
- 状態:この症状は、HP ICMP EchoインスタンスがIMC経由でデプロイされている場合に発生します。
- 回避策:なし。

# 解決された問題のリスト

## iMC SHM 7.3 (E0502P08)で解決された問題

### 問題1.201807240268

- 症状:NQAメンテナは、All InstancesページですべてのNQAインスタンスを表示できます。
- 状態:この症状は、NQA maintainerが一部のNQAグループのNQAインスタンスを表示する権限しか持っていない場合に発生します。

### 問題2.201808100754

- 症状:アラーム回復条件が満たされても、NQAインスタンスアラームが回復されません。
- 状態:この症状は、多数のNQAインスタンスが存在する場合に発生することがあります。

### 問題3.201803090385

- 症状:NQAインスタンスアラームの送信元デバイスが正しくありません。
- 状態:この症状は、NQAインスタンス内の送信元インターフェイスのIPアドレスが、別のデバイス上のインターフェイスのIPアドレスと同じ場合に発生します。

### 問題4.201708020212

- 症状:NQAインスタンスアラームページで、NQAインスタンスのアラーム数が正しくありません。
- 状態:この症状は、インスタンスの古いアラームが回復される前に、NQAインスタンスに対して新しいアラームが生成された場合に発生します。

## iMC SHM 7.3 (E0502L07)で解決された問題

### 問題1.201805090301

- 症状:500を超えるNQAインスタンスが存在する場合、NQAインスタンスページに入るのに時間がかかります。
- 状態:この症状は、500を超えるNQAインスタンスが存在する場合に発生します。

## iMC SHM 7.3 (E0502P06)で解決された問題

### 問題1.201802080063

- 症状:NQAインスタンスデータを収集する間隔では、のカスタマイズをサポートしていません。
- 状態:この症状は、NQAインスタンスがNon-Web Management Base Index Items Listからインポートされた場合に発生します。

### 問題2.201801270023

- 症状:NQAサーバーの設定をNQAインスタンスに展開できません。
- 状態:この症状は、NQAインスタンスが次のタイプのいずれかである場合に発生します。UDPジッタ、UDPエコー、音声、HP TCP接続、H3C TCP接続、およびTCP接続。

### 問題3.201801290066

- 症状:デバイスの完了したNQAインスタンスの監査ステータスが、NQAインスタンスリストにAuditingと表示されます。

- 状態:この症状は、デバイスに対する監査が完了したときに発生します。

#### 問題2.201802050085

- 症状:SHMはすべてのNQAインスタンスのデータを収集できません。
- 状態:この症状は、NQAインスタンスの数が199に達したときに発生します。

## iMC SHM 7.3 (E0502H05)で解決された問題

#### 問題1.201711090377

- 症状:デバイスの監査に時間がかかります。
- 状態:この症状は、すべてのデバイスが監査されたときに発生します。

#### 問題2.201710180285

- 症状:Webで設定されていない基本インデックスがNQAインスタンスとしてSHMにインポートされた場合、アラームはトリガーされません。
- 状態:この症状は、非Web構成基本索引がNQAインスタンスとしてSHMにインポートされた場合に発生します。

#### 問題3.201710270449

- 症状:オペレータがNQAデバイスのUDP設定を削除しようとする、エラーページが開きます。
- 状態:この症状は、オペレータがLinux環境でNQAデバイスのUDP設定を変更するために、ページ上のUDP設定を削除しようとした場合に発生します。

#### 問題4.201711090377

- 症状:アラームページにアラームが表示されません。
- 状態:この症状は、オペレータがアラーム番号を持つNQAインスタンスをコピーし、重複するNQAインスタンスのアラーム番号リンクをクリックした場合に発生します。

## iMC SHM 7.3 (E0502P04)で解決された問題

#### 問題1.201709060690

- 症状:H3C ICMPジッタタイプのNQAインスタンスを追加できません。
- 状態:この症状は、H3C ICMPジッタタイプのNQAインスタンスを追加しようとしたときに発生します。

#### 問題2.201708020396

- 症状:VoIPネットワークのMOSおよびICPIFのパフォーマンスメトリックが、NQAインスタンスレポートのUDPジッタインスタンスに対して表示されます。
- 状態:この症状は、UDPジッタインスタンスが追加された後に発生します。

## iMC SHM 7.3 (E0502P03)で解決された問題

#### 問題1.201706200451

- 症状:今日のSLAヘルスステータス要約の元の出カデータで、NQAインスタンスの収集値が無効です。
- 状態:この症状は、NQAインスタンスがNQAリストから削除されたときに発生します。

### 問題2.201706200466

- 症状:NQAインスタンスレポートで、セカンダリプロセスによって収集されたデータが表示されません。
- 状態:この症状は、プライマリプロセスとセカンダリプロセスが同じ時間(1秒)内にNQAインスタンスデータを収集するために開始された場合に発生します。

### 問題3.201706170095

- 症状:今日のSLAヘルスステータスサマリーの元の出力データが失われました。
- 状態:この症状は、SLAの変更中に測定オブジェクトがKQI基本情報から削除された場合に発生します。

## iMC SHM 7.3 (E0502P02)で解決された問題

### 問題1.201703300650

- 症状:次のページでどのNQAグループをクリックしても、常に最初のNQAグループページにリンクされます。
- NQAインスタンスページ
- NQAインスタンスポロジのナビゲーションツリーで>>>をクリックした後に表示されるページ。
- 状態:この症状は、2つ以上のNQAグループが存在する場合に発生します。

### 問題2.201704210558

- 症状:システムは、H3C機能のNQAインスタンスをデプロイするためのHPEデバイスを表示できません。
- 状態:この症状は、H3C機能のNQAインスタンスを作成し、これらのNQAインスタンスをHPEデバイスにデプロイする場合に発生します。

## iMC SHM 7.3 (E0502P01)で解決された問題

### 問題1.201612010261

- 症状:SHMコンポーネントがHPデバイスをインポートできません。
- 状態:この症状は、SHMにインポートするためにHPデバイスが選択された場合に発生します。これは、SHMコンポーネントがHPデバイスをサポートしていないためです。

# ソフトウェアのアップグレード

次の情報では、汎用パッチのインストール手順のみを説明します。iMCのインストール手順および詳細なアップグレード手順の詳細は、配置シナリオのiMCの配置を参照してください。

## 制限事項およびガイドライン

パッチのインストール中にエラーが発生した場合は、データを復元してから、アップグレード手順を繰り返してパッチをインストールします。問題が解決しない場合は、H3Cサポートに連絡してサポートを受けてください。

パッチのインストール後は、システムをロールバックできません。

## 前提条件

このバージョンにアップグレードするには、次のバージョンが実行されていることを確認してください。

- iMC SHM 7.3 (E0502L07)
- iMC SHM 7.3 (E0502P06)
- iMC SHM 7.3 (E0502H05)
- iMC SHM 7.3 (E0502P04)
- iMC SHM 7.3 (E0502P03)
- iMC SHM 7.3 (E0502P02)
- iMC SHM 7.3 (E0502P01)
- iMC SHM 7.3 (E0502)

アップグレードを成功させるためのベストプラクティスとして、アップグレードソフトウェアパッケージをアップグレードするサーバーのローカルファイルシステムにダウンロードします。リモートファイルシステムからアップグレードする場合、接続の喪失などの問題によりアップグレードが失敗することがあります。

## iMCのバックアップ

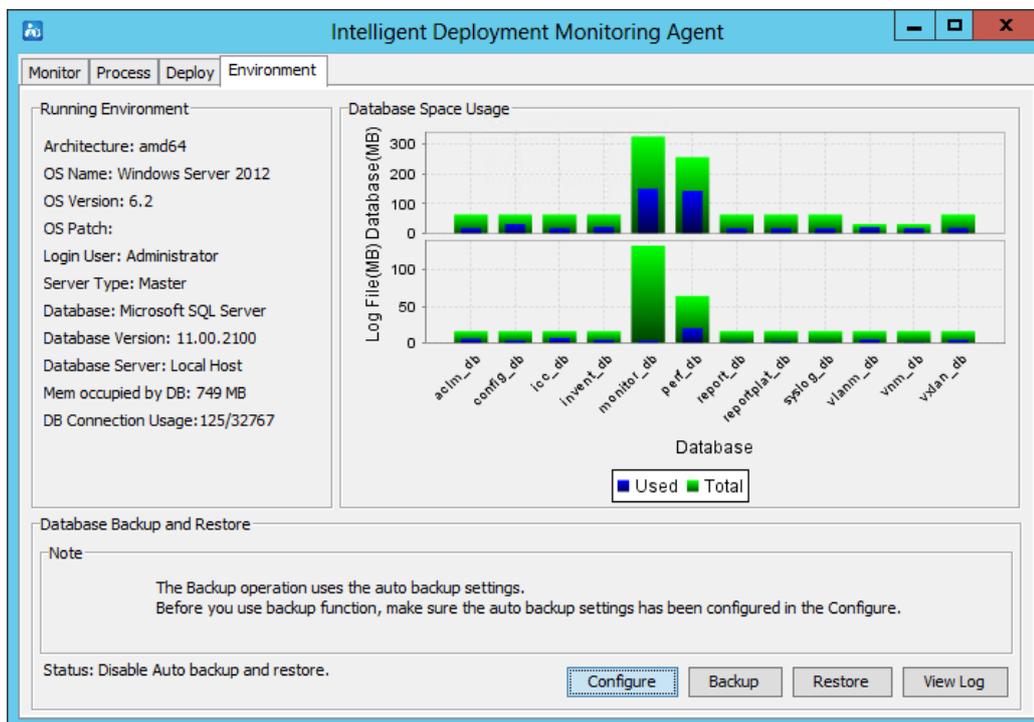
アップグレード前にiMCをバックアップして、ソフトウェアのアップグレードが失敗した場合の迅速なデータリカバリおよびソフトウェアダウングレードを可能にします。

1. Backupをクリックして、デプロイメントモニタリングエージェントからサーバー上のデータベースをバックアップします。  
ボタンをクリックします。

分散配置環境では、マスターサーバー上でこの手順を実行します。

リモートデータベースを使用する配置でデータベースのバックアップに配置監視エージェントを使用するには、リモートデータベースサーバーにエージェントをインストールする必要があります。

図1 デプロイメント監視エージェントからのiMCのバックアップ



2. iMCインストールディレクトリ全体をバックアップ用の新しいディレクトリにコピーします。  
分散配置環境では、マスターサーバーとそのすべての下位サーバーでこの手順を実行します。

**注:**

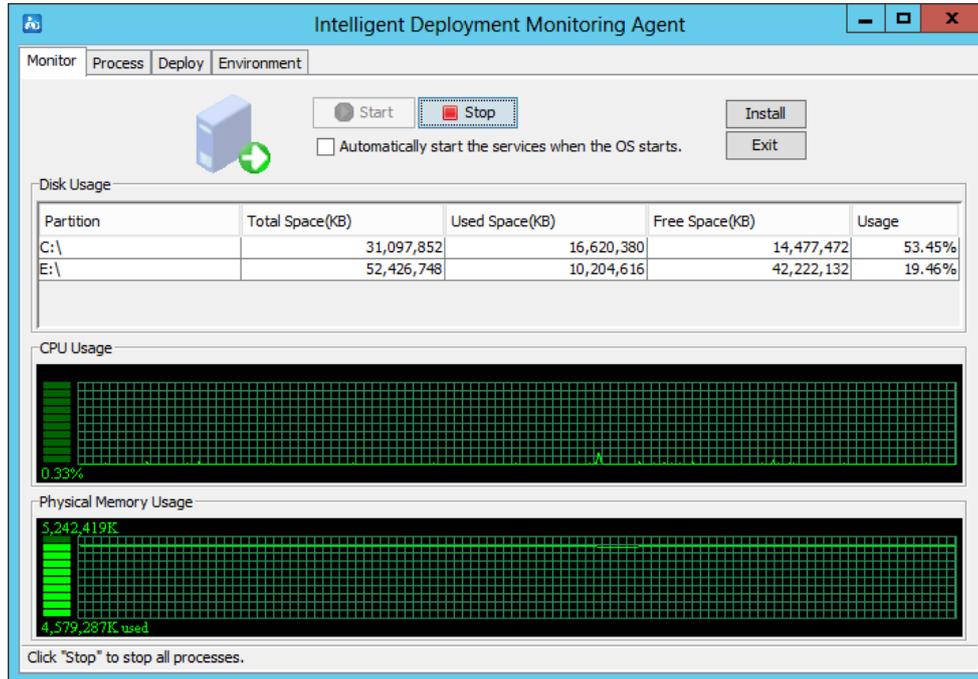
iMCフェイルオーバークラスタの場合、アップグレード手順を実行する必要があるのはアクティブノードのみです。バックアップノードは自動的にアクティブノードと同期します。

## iMCのパッチ適用

分散配置では、マスターサーバーを使用してパッチのインストールを開始します。

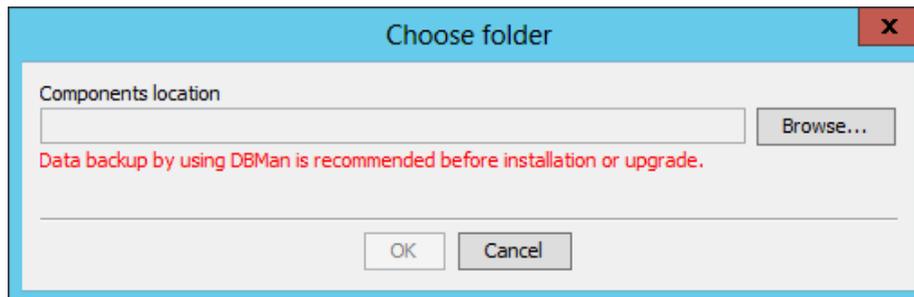
1. 展開監視エージェントのMonitorタブで、StopをクリックしてすべてのiMCプロセスを停止し、Installをクリックします。

図2 新しいコンポーネントの取り付け



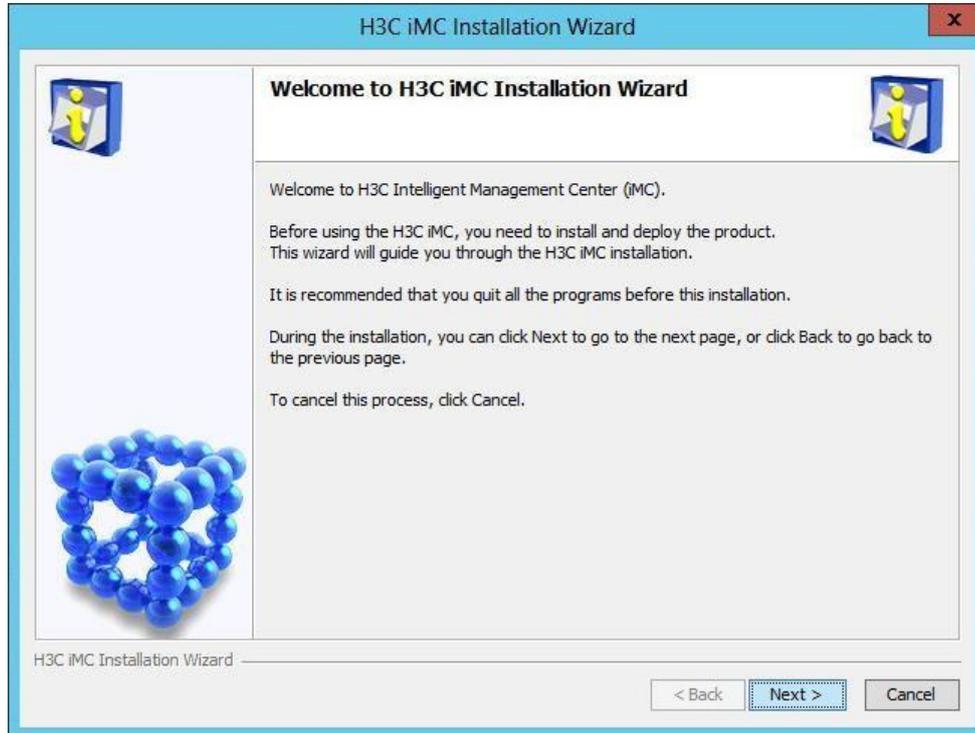
2. ファイル選択ダイアログで、Browseをクリックして、iMCアップグレードパッケージを含むディレクトリ内のcomponentsサブディレクトリを選択し、OKをクリックします。

図3 コンポーネントの選択



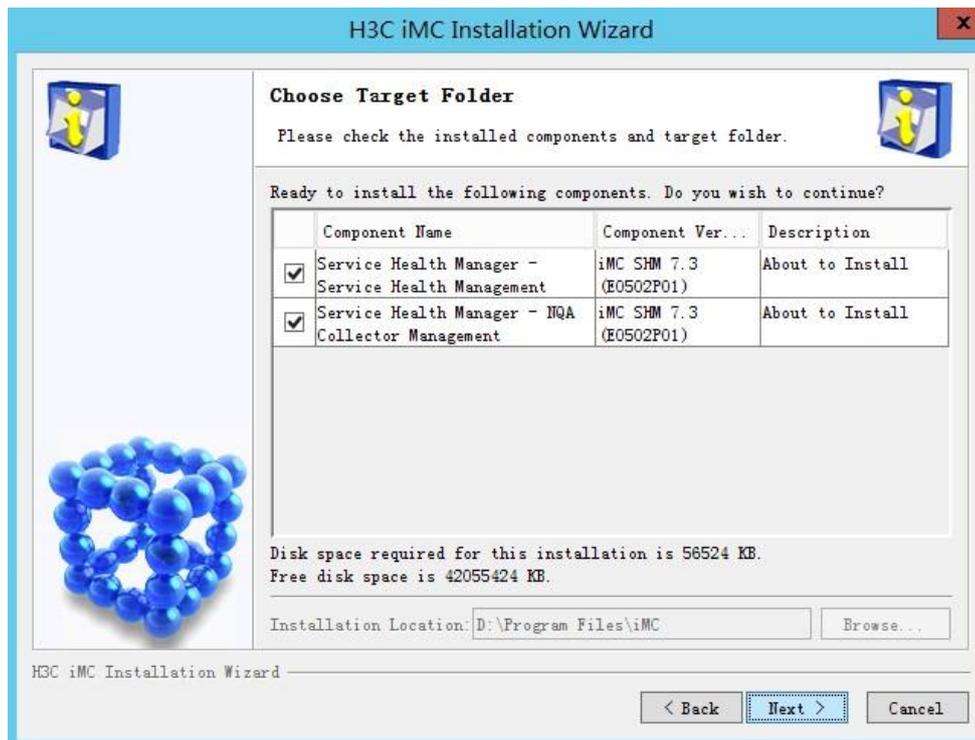
3. インストールウィザードが開いたら、Nextをクリックし、指示に従って共通コンポーネントをアップグレードします。

図4 インストールウィザード



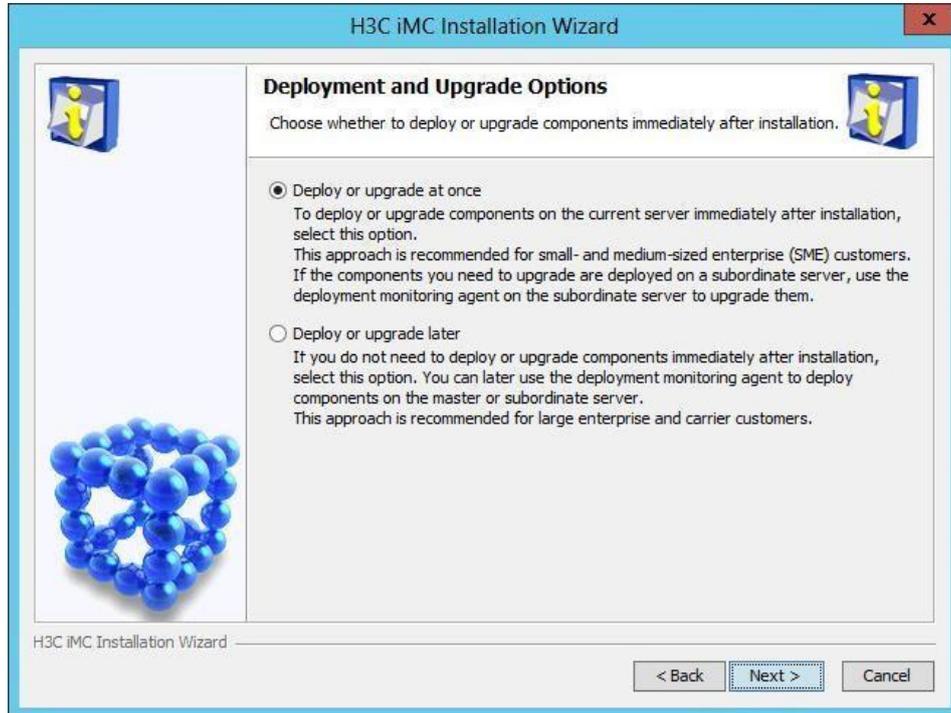
4. インストール先フォルダの選択画面が表示されたら、インストール先を確認して、次へをクリックします。

図5 インストール場所の確認



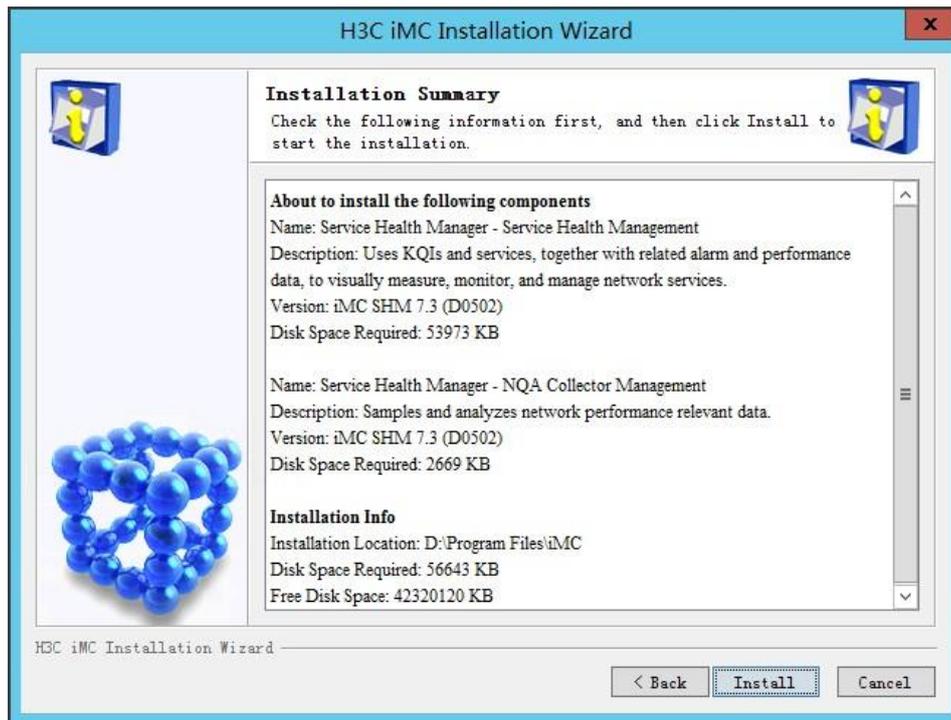
5. Deployment and upgrade optionsウィンドウで、immediate deployまたはupgradeのオプションを選択し、Nextをクリックします。

図6 デプロイメントおよびアップグレードオプションの選択



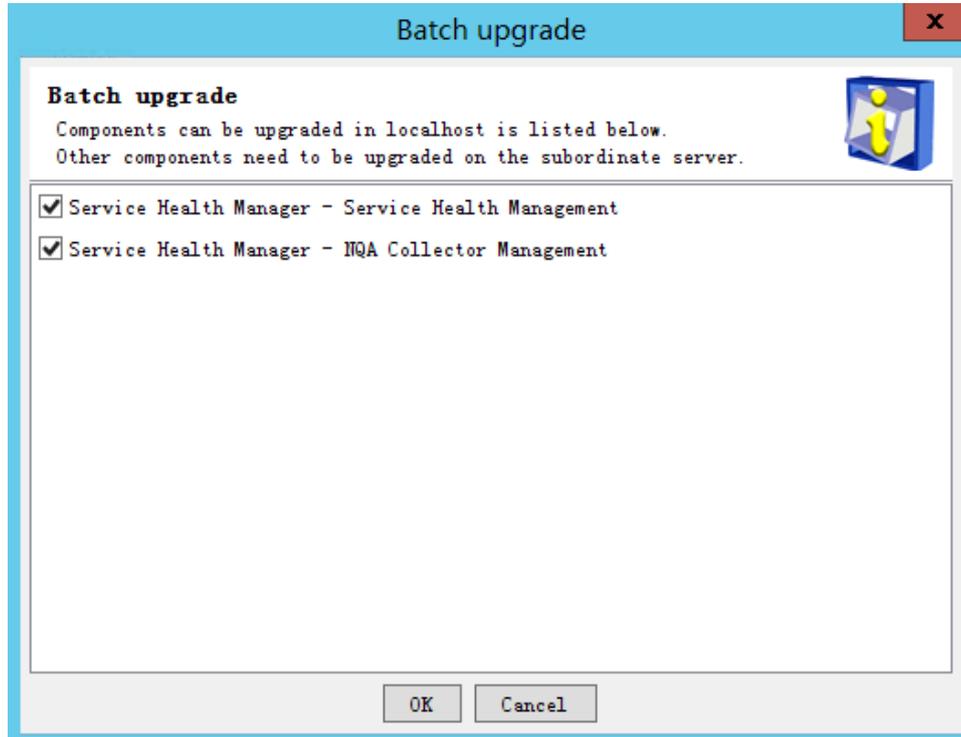
6. インストールの概要ウィンドウで、すべてのインストール情報が正しいことを確認し、Installをクリックします。

図7 デプロイメントおよびアップグレードオプションの選択



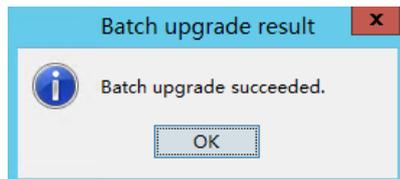
7. Batch upgradeウィンドウで、インストールするコンポーネントを選択し、OKをクリックします。

図8 コンポーネントのアップグレード



8. Upgrade succeededダイアログが表示されたら、OKをクリックしてアップグレードを完了します。

図9 Upgrade succeededダイアログボックス



9. デプロイメントモニタリングエージェントのmonitorタブで、StartをクリックしてすべてのiMCプロセスを開始します。
10. iMCフェイルオーバークラスタの場合は、前の手順を繰り返して残りのノードをアップグレードします。分散配置を使用する場合、またはデータベースサーバーに配置監視エージェントがある場合は、次のように残りのサーバーをアップグレードします。
  - a. 各サーバーで、展開モニタリングエージェントとH3C iMCサーバーを再起動します。
  - b. 表示される指示に従って、アップグレードを完了します。

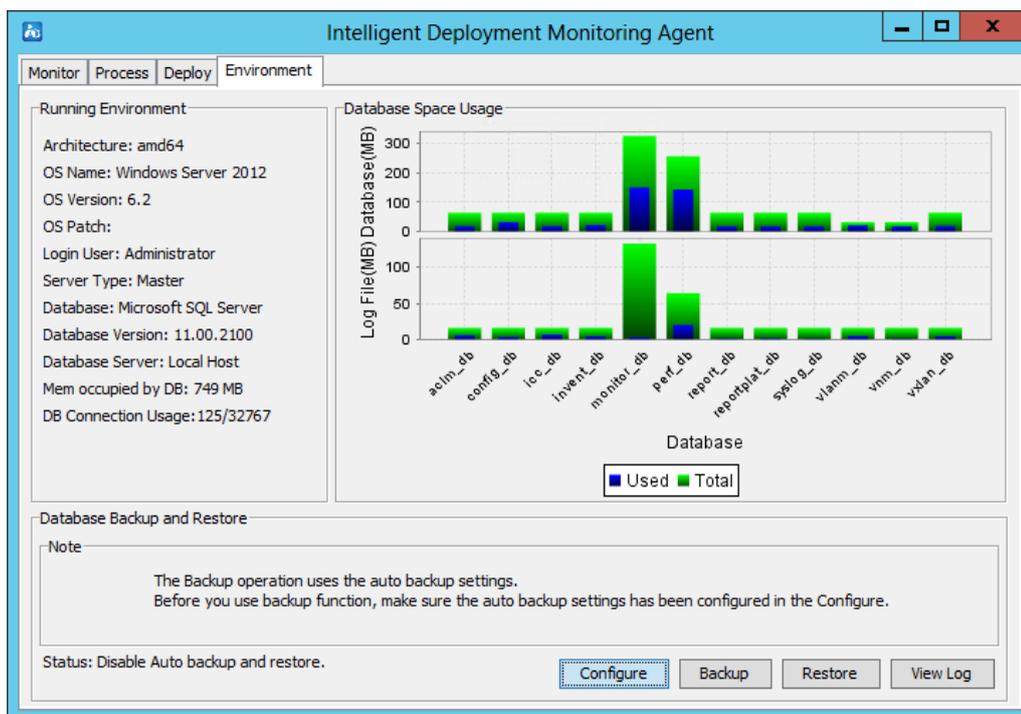
# アップグレード障害後のiMCの復元

分散配置の場合は、マスターサーバーとそのすべての下位サーバーで復元手順を実行します。

フェールオーバーiMCクラスタの場合は、アクティブノードで復元手順を実行します。

1. 展開監視エージェントのEnvironmentタブで、Restoreをクリックし、すべてのデータベースバックアップファイルを選択してiMCを復元します。

図10 iMCのリストア



2. デプロイメント監視エージェントおよびH3C iMCサーバーを含むすべてのiMCプロセスを停止します。
3. iMCインストールディレクトリ内の内容を削除します。
4. バックアップiMCディレクトリを以前のiMCインストールディレクトリにコピーします。
5. 配置でリモートデータベースを使用する場合は、iMCサーバーでDBManユーティリティを使用してデータベースをリストアします。分散配置では、マスターサーバーでこの手順を実行します。

## 情報問い合わせ先情報

ご不明な点がございましたら、メール:service@h3c.comまでご連絡ください。